

受講を希望される方へ（受講資格）

図書館司書・学芸員・教員・企業等で関連する専門的な業務を大学卒業後3年以上、あるいは短期大学・専門学校卒業後5年以上経験されている方を対象とします。その他、関連専門職の方は年数・職歴で認められますので、お問い合わせください。

受講を希望される方は、次のような経験、知識の有無をチェックしていただき、OKならば、ぜひ受講していただきデジタル・アーキビストの資格を取得して下さい。

次の(A)または(B)のいずれかに該当することを確認ください。

(A) 準デジタル・アーキビスト資格を所有している。

デジタル・アーキビストに求められる基礎的知識等を備えているとみなします。

(B) 次の(1)～(3)について基礎的な能力を備えている。

(1)映像撮影に関する基本技能

- a カメラを用いた撮影ができる…例えば司書の方は接写撮影ができる
- b ビデオカメラを用いた撮影ができる…自分自身で撮影や簡単な編集ができる
- c スキャナーを使って映像を取り込むことができる

(2)データベース活用について

- a エクセルやアクセス等でデータベースの記録項目を設定し、データ入力ができる
- b 簡単な情報検索の経験がある

(3)著作権・プライバシーに関する知識や対処について

- a 各専門分野について著作権の基本的な事柄を理解している
- b プライバシー、個人情報について対処できる

受講申込書の記入について

申込用紙に略歴と担当業務の内容及び経験年数を簡単に書いてください。

デジタル・アーカイブ講座のカリキュラム 5日間（2週間ずつの自習期間があります）

第1日（土） （10:00 受付）	10:30～12:30 デジタル・アーカイブ	昼 休	13:30～16:30 文化メディアと実習(映像記録)
第2日（日） （9:10 受付）	9:30～12:30 情報管理メタデータとシソーラス	昼 休	13:30～16:30 著作権・プライバシー

自習期間 2週間

第3日（土） （10:00 受付）	10:30～12:30 著作権・許認可	昼 休	13:30～16:30 メタデータ・シソーラス演習
第4日（日） （9:10 受付）	9:30～12:30 プレゼンの構成と評価	昼 休	13:30～16:30 デジタル・アーカイブ演習

自習期間 2週間

第5日（土） （10:00 受付）	10:30～12:30 デジタル・アーカイブ	昼 休	13:30～16:30 デジタル・アーキビスト資格認定機構試験
----------------------	---------------------------	--------	------------------------------------

注：事前にテキスト「準デジタル・アーキビスト（日本文教出版）」または「デジタル・アーキビスト概論（日本文教出版）」で学習（復習）しておいてください。

